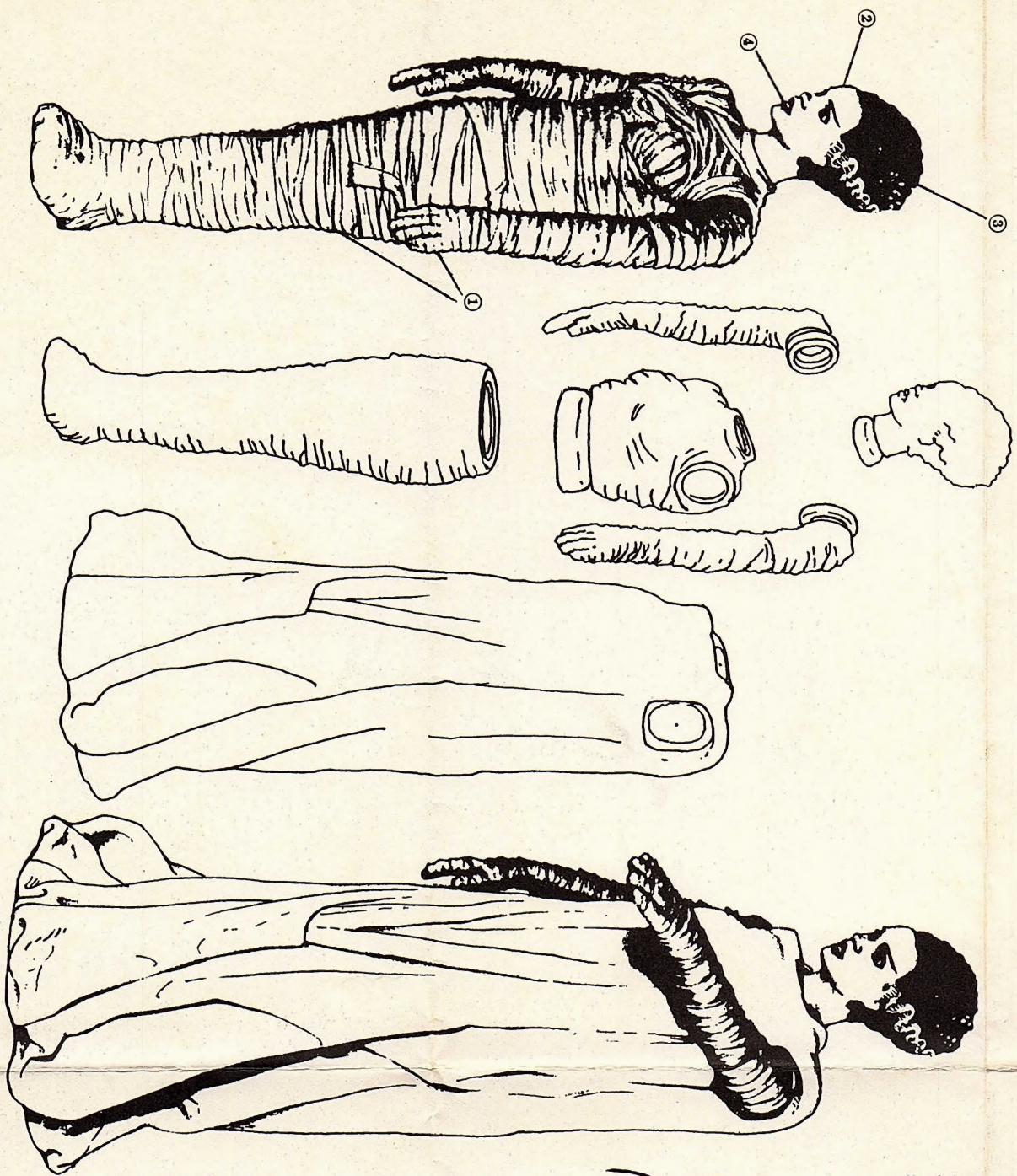


BLANKEN

MOBIL  
ホラーワールド

# THE BRIDE OF FRANKENSTEIN

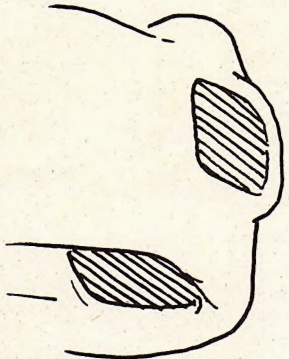
MODELING by ヘヤオ.



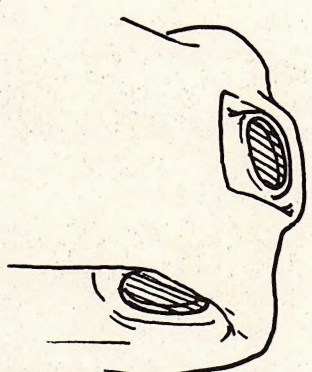
## THE BRIDE OF FRANKENSTEIN フランケンシュタインの花嫁 1935 ユニバーサル作品

### 《ストーリー》

前作（フランケンシュタイン、1933）で風車小屋に火を放たれ、焼死したと思われたフランケンシュタインのモンスターは、小屋の床下にあった地下水道に落ち助かった。野草を食べ、小川の水を飲みながら山へ逃げるが、その小川で、羊飼いの少女に会い、悲鳴をあげられたため再び村びとたちに追われる。盲目の老人が一人住まう山小屋に逃げ込むが、バイオリンを唯一のなぐさみとする孤独の老人のもてなしは、モンスターにやすらぎを与え、片言ながらも話せるようになる。しかし、老人との人間らしい生活は長くは続かなかった。山に迷い道をたずねてきた二人のハンターが発見され、またも一人逃げまどう。墓標を倒し逃げ込んだ地下墓地には、女性のモンスターを創ろうと企み、死体を盗みに来たフレイトリアス博士がいた。博士はモンスターに女友達を創ってやると言った。そして、フランケンシュタイン博士を強迫し協力させ、やがて、二人の博士は輝くばかりに美しい“モンスターの花嫁”を完成させた。しかし、なれない喜びの表情に顔をゆがめたモンスターが近づき、花嫁の肩に手をおくと、花嫁は悲鳴をあげ恐れおののいた。すべてに失望したモンスターは、自らと同じく不幸の下に生まれた花嫁と、そしてその悲しみを作り出したフレイトリアス博士をみちづれに、実験室もろとも自爆してまった。



左図のように  
ガウンの斜線部を切り抜いて  
ボディ一部にかぶせ、そのボ  
ディに頭及び両腕を取り付  
けます。または、右図のよう  
に斜線部を切り抜き、直接、  
頭と両腕を取り着けることも  
できます。この場合、包帯に  
つづまれたボディ一部は余ります。



1. 色の乗りがよくなるよう、洗剤で洗うか、ベンジン等で拭くなど油分を落としてください。
2. つぶれたり、ねじれた状態のパーツがある場合は、熱湯（60℃以上）の中でしばらく温めてください。数分で自然な状態にもどります。
3. 形状が複雑なため、多少気泡がはいる場合があります。ポリパテ等で埋めてください。
4. 組立ててから着色するのは困難なので、この段階で包帯部分全体と、顔の肌色を着色（目、口、髪は組立てた後でもよい。）しておきます。
5. 不用な部分をカッター等で切り取ります。
6. ドライヤーで充分あたためて、やわらかいうちにはめ込みますが、無理せずはいないに行なって下さい。
7. 彩色には、プラカラー等、水性アクリル塗料が適しています。モノクロ映画ですので正確な色はわかりませんが、雑誌“宇宙船”Vol. 3 P. 51の着色写真では、包帯は白、ガウンは薄い黄、青白い顔に真赤な口唇。マユ、目、髪は黒ですが両脇のウェーブがかった部分は白髪です。ただし、映画ではガウンよりは包帯のほうが暗く映っているので、僕は逆にしてみました。

《カラーリング》 — タミヤカラー・アクリルペイントによる —  
① 包帯 — XF・14 + XF・4    ② バグ色 — XF・14 + XF・15    ③ 黒髪 — XF・1 + X・9  
④ 口唇 — X・7 + XF・9

TEL 03-400-2214    ビリケン  
東京都港区南青山5-17-6    南青山グリーンハイツ101